



10/27~11/9は「読書週間」 家族みんなで読書に親しもう！

徳之島町青少年育成町民会議の全体取組事項は「読書活動の推進」です。青少年の健全育成について協議する場である町民会議で今回改めて読書活動を推進することとなった理由は、子どもの活字離れや家に一冊も本が無いという家庭があるという本町の実態調査によるものです。10月27日から11月9日までの2週間は「2025第79回読書週間」です。子どもや大人に関わらず、読書から得られる経験は自分自身の成長に大きく影響をもたらしてくれます。

昨今、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間である限り、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことは変わりありません。暮らしのスタイルに、人生設計の中に、新しい感覚での「本とのつきあい方」を取り入れていきませんか。今回は読書がもたらす効果やメリットについてご紹介します。



読書の効果・メリット



読書がもたらす効果やメリットについては数多く挙げられますが、今回は一般的に知られる5つについて紹介します。

①語彙力や文章理解力が上がる

読書により、多くの言葉を知る機会が増え、知らない言葉の意味や使い方を調べることで語彙力が向上します。

②教養や知識が身につく

読書により、知らなかった知識や教養を芋づる式で身に付けることができます。

③想像力が豊かになる

文章や単語から本の情景や背景、登場人物の感情や思考を想像するための力が養えます。

④コミュニケーション能力が向上する

自分の考えを他人に正確に伝える能力が身に付き、読書による知識や話題で、初対面の人との会話もスムーズになります。

⑤ストレス解消になる

読書にはストレス解消の効果があり、読書により現実から離れて物語の世界に没頭することでストレス解消に繋がります。



読書活動を通して出会う「心に残る一冊の本」は、心を豊かにするだけでなく、夢や人生の指針を与えてくれるきっかけにもなります。鹿児島県が推奨する「1日20分読書」運動は、全ての子どもが1日に少なくとも20分程度の時間を読書に親しむ取組です。小さな習慣が子ども達の大きな未来を育むきっかけになります。秋の夜長のお供に、子どもと一緒に読書を始めてみませんか。

※先着でお菓子の
プレゼントもあるよ！

今年も開催！「ハロウィニイベント2025」



大好評のハロウィンイベントを下記の日程で開催します！
幼児から大人まで誰もが楽しめるイベントを企画しています！
皆さまのご来場をお待ちしています！

と き：令和7年10月25日（土）9：00～12：00

ところ：町生涯学習センター 2階多目的ホール



家庭教育フェスタ ・ 家庭教育講演会を開催 !!

令和7年9月23日（火）地域で支える家庭教育推進事業で「家庭教育フェスタ」を初開催しました。

その中で家庭教育講演会には、約70名の参加があり、講師にITジャーナリストで、成蹊大学客員教授の高橋暁子氏をお迎えし「10代のSNS事情～子どもたちをトラブルから守るために～」と題して講演を行いました。

現在、保護者や教職員・行政関係者等で課題となっているのが、子どもたちを取り巻くSNS等の問題です。講師の高橋先生は、子どものSNS利用実態や子どもに多いトラブル、保護者ができること等について、具体的なお話をされました。

参加者からのアンケートでは「わかりやすい話だった」「具体例の紹介があり良かった」「子どもが自ら気づくような関わり方が大事」等の感想がありました。

そして、同時開催のワークショップ＜アボリジナルアート＞とく交通安全キーホルダーづくりにも子どもたちが参加し、それぞれの作品を作りました。

皆さまのご参加、本当にありがとうございます！



家庭教育講演会



アボリジナルアート



交通安全キーホルダーづくり



託児のようす

10月行事予定 🎃🎃🎃🎃🎃🎃🎃🎃

10月 1日（水）～2日（木）家庭教育支援員研修会（奄美市）

10月 2日（木）青少年育成推進委員会

10月12日（日）第66回町民体育祭

10月23日（木）～24（金）就学時健康診断

10月25日（土）ハロウィンイベント2025

10月31日（金）青少年育成町民会議



10月のおはなしの時間 11日・25日



家庭教育支援チーム「つおもたい」から一言

いい本に出会うことは、
いい人に出会うことに似ている。



読書は、想像力や考える習慣を身につけ、豊かな感性や情操、思いやりの心を育むことができます。家で本を読む時間を設け、読書の習慣をつけましょう。